

# 笛吹中央病院 関節治療センター

センター長あいさつ

片桐 佳樹 (かたぎり よしき)



【出身大学】 島根大学  
【専門医・認定医】 日本整形外科学会専門医  
【専門領域】 膝関節・股関節外科  
【所属学会】 日本人工関節学会・日本股関節学会  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会

皆さんこんにちは。当センターは平成 22 年 4 月より関節鏡手術を開始し、年々手術症例数を増やし平成 27 年度は人工関節 73 例・関節鏡 138 例・その他の骨折 117 例・その他の手術 230 例・総合計 618 件の手術を行っております。その中でも、股関節の手術は、県外から手術を希望される患者様の紹介が多くなっております。整形外科医も常勤 3 名・非常勤 2 名と数を増やし、安心して安全な手術をご提供出来るよう体制を整えております。患者さんひとりひとり、親切丁寧に説明し、その人らしい生活が維持できるようお手伝いさせて頂ければと思っておりますので、今後共よろしく願いいたします。

## 【関節疾患とは？】

○関節の痛みを引き起こす状態です。軟骨の変性や損傷、腱、靭帯の断裂、生まれつきの形態異常などが原因です。

## 【診断】

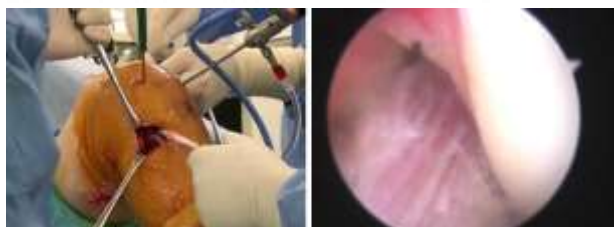
○医師の診察でおおまかに予想できます。

追加として画像診断（レントゲン、CT、MRI など）を行います。当院には CT、MRI があり早期撮影が可能です。

## 【治療】

=関節鏡=

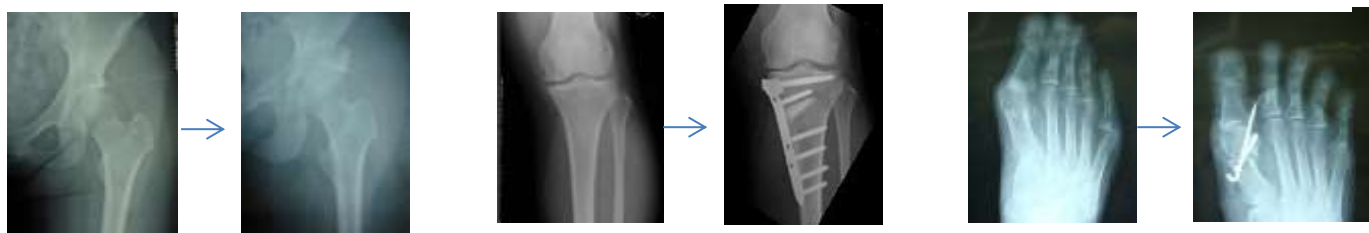
○関節の周囲に安全な部位からカメラを挿入し関節内の観察を行います。さらに別の穴を作成し、関節内病変に対し処置（滑膜切除や損傷部位の修復、靭帯の再建など）を行います。



写真は膝関節鏡視下前十字靭帯再建中の様子

## =骨切り=

○膝、股、外反母趾などに対して人工関節（下述）をするまでないが、痛みがあるような患者さんに対し行います。関節温存手術と言われ自分の軟骨を用いて痛みを軽減させようとする治療です。



## =人工関節=

○軟骨破壊が著しく骨切りの適応がない場合に行います。関節を金属などの人工物に置換するものです。痛み的大幅な軽減が期待されます。手術の翌日から起立歩行訓練、可動域訓練（膝の曲げのぼしの訓練）を行っております。リハビリスタッフが手術の翌日から付き添って訓練を行っております。



## =手の外科=

○手の外科という分野は手・指・腕・肘の様々な病気を扱う臨床分野です。

怪我や事故による腱、筋肉、骨、血管、神経などの組織損傷に対する治療を行っています。手首や指などの骨の骨折や、腱の断裂では手術だけでなくリハビリが非常に重要な要素となります。

### 【主な症状】

- ・肩関節・・・肩が重い。肩の夜間痛が続く。肩が挙がらない。
- ・手外科・・・手（上肢）外傷・痛み、しびれ、運動障害
- ・股関節・・・動作時関節が痛い。関節の動きが悪い。  
痛みのためスポーツが出来ない。
- ・膝関節・・・膝が痛い。階段の登り降りが痛い、膝がガクガクする。

## 【スタッフ紹介】

### ○常勤医

膝関節・股関節領域  
(かたぎり よしき)



手外科領域・関節外科  
(たかやま たくと)



膝・足関節領域  
(たかやま さだゆき)



### ○非常勤医

股関節領域  
(やまもと やすひろ)



肩・股関節領域  
(ときよし あきなり)

